

「わが村は美しくー北海道」運動第6回コンクール

大賞表彰式・交流会 ～参加しよう・広げよう・いいもの伝えよう～

北海道開発局では、道内各地で取り組まれている地域の魅力と活力を高めようとする住民主体の活動を見出し、これを広く発信し波及させていくことによって、農山漁村のさらなる発展に寄与することを目的に、「わが村は美しくー北海道」運動を推進しており、その一環として、平成14年からこれまで2年に一度コンクールを開催しています。

第6回目となる今回のコンクールは、新たな方式で行うこととし、それまで「景観」「地域特産物」「人の交流」と三つあった応募部門を一本化し、1年目は、全道10のブロック毎に審査選考・表彰を行い、2年目に、大賞を選考することとしました。コンクールは、24年4月の応募開始でスタートし、各地域から113団体の応募があり、ブロック毎の審査選考の結果、25年2月から3月にかけて、地域の活性化や個性的で魅力ある地域づくりにおいて優れた活動として、優秀賞14団体と奨励賞34団体を表彰しました。

そして、25年度には優秀賞14団体の中から、特に先進性・モデル性の高い活動を行う3団体を大賞として選考し、去る2月3日に札幌市にある北海道立道民活動センター「かでの2・7」で、表彰式と交流会を開催しました。



大賞表彰式

表彰式では、コンクール参加団体をはじめ、関係機関や自治体などから定員を越す約160名の参加者が見守る中、澤田和宏国土交通省北海道開発局長から下記の受賞3団体代表に表彰状が授与されました。

- 消費者ニーズに的確に応えながら販売額を増やしている「恵庭農畜産物直売所かのな（花野菜）運営協議会」
- ハーブを切り口に女性達の新たな活動の可能性を示した鶴居村の「ハーブンマージュ」
- パスタ適性の小麦品種の栽培から商品の開発、販路開拓まで戦略的に取り組む「留萌・麦で地域をチェンジする会」

そして、北海道局長ならびに北海道知事の祝辞の後、黒河功大賞審査委員長から講評がありました。

講評では、大賞候補となった14団体の活動が、何れも地域が主体となった大変魅力ある内容のものばかりであったこと、そして大賞を審査・選考する視点として、①活動の理念（コンセプト）がより明確であること、②「地域活動モデル」として分かり易く、広く道民の皆さまに知っ



黒河 功 氏
大賞審査委員長

てもらいたいものであることの2点に留意して選考を行ったこと、さらに③現在の活動が「完成度の高いもの」だけではなく、今後の「将来性」や「可能性」などについて、大いに期待しうと思われるものについても選考していくこととしたことなどが説明されました。

続いて、受賞3団体の代表から、パワーポイントを使い、取組の経緯や創意工夫した点などについて活動報告があり、最後に、林美香子慶応義塾大学特任教授による特別講演がありました。

特別講演

食と農による地域活性化

内閣府などの調査によれば、1984年をピークに国民の生活満足度は年々減少。「物の豊かさ」より「心の豊かさ」への願望が強まっており、レジャー・余暇に生活の力点を置く人が多くなっています。農業・農村とのかかわりに関する調査では、6割超の人が「新鮮な空気に触れて心身をリフレッシュさせたい」と考え、以下「農村でおいしい食べ物などを楽しみたい」「農村でのんびりとした時間を過ごしたい」などと続きます。

そこで、農村と都市の共生による地域づくりを通じ、農村地域における経済活性化と交流人口増加による地域活性化、そして都市における心の豊かさの充実と余暇の充実による満足度上昇を目指していくことを提唱しています。

具体的には、農村のコミュニティビジネスとしてのグリーンツーリズムを進めることにより、農家と都市住民の間に経済や情報、人材の好循環が生まれ、さらには地域において、生産者をはじめ、消費者、一般住民、商工、金融、行政、研究機関などが手を携えることにより、一層効果的な展開が期待できます。

グリーンツーリズムに取り組む上でのキーワードはやはり「地産地消」です。鮮度や味の良さ、経済の域内循環、移動距離が短いことなど、良いことづくめです。

全国や道内各地の地産地消の具体例を見ていくと、例えば、生乳をチーズに加工することにより、付加価値率がぐんと向上。また、直売所や農家レストランでは、地域に密着した食の安全をPRでき、さらに農業体験や料理講習会などにより、食の多様性や地域特有の農産物を学び、伝統・文化の継承につなげていく取組も盛んです。新たな農業システムの例として、農村ボランティアや企業による農業応援や、契約栽培、オーナー制度などの取組も行われています。海外でも、フランスやイタリアの農家レストランやマルシェは、広く市民の支持を受けており、本道においても参考とすべき点があります。



林 美香子 氏
慶応義塾大学大学院システムデザインマネジメント
特任教授

交流会

表彰式終了後、NPO法人わが村は美しくー北海道ネットワーク主催による「交流会」が開催され、第6回コンクール応募団体をはじめ関係者約140名が出席し、団体の活動紹介や特産品のPRコメントに熱心に耳を傾けながら、道産食材を使った料理に舌鼓を打ちつつ、交流を深めていました。



大賞受賞団体の活動概要

○「恵庭農畜産物直売所 かのな（花野菜）」運営協議会〔恵庭市〕

平成19年の直売所開設以来「生産者と消費者を安心で結ぶ」ことを基本としています。農産物の出品方法は生産者主導型とし、生産者が独自の規格・品質に見合う価格を決定し販売しています。「かのな大収穫祭」などのイベント開催の充実に努める一方、欠品などを解消するための携帯電話を使った販売状況検索システムの活用や、レジ数の増設などを行い、販売運営の拡大を図ったことにより、平成24年の来客数は約28万人（平成19年対比312%）、販売額3億3千4百万円（同519%）となっています。

また、地方発送や、恵庭市内の加工会社（かまぼこ工場）との連携による商品開発、グリーンツーリズムマップの配布や保育園への給食食材の提供も行っています。地元農畜産物の消費を拡大し、農家経営を応援する取組は、地域経済の活性化に大きく貢献しています。



○ハーブマージュ〔鶴居村〕

①自家栽培のハーブや自生する野草を使ったハーブティーやハーブパンづくり、鶴居産の蜜蝋（みつろう）などの地域資源を使った手づくりの自然派化粧品、ハーブを取り入れたハーブバターなどの乳製品開発と販売、②鶴居産の食材を活かした料理教室、ハーブ・アロマ体験講座、ハーブを用いたガーデニング講座、クリスマスリースづくりやお正月生け花講座など季節に合わせたイベントの開催などを行っています。活動拠点のファームレストラン周辺には手づくりのハーブガーデンをつくり、地域の農村景観ともマッチしています。鶴居村商工会と連携して鶴居村市街地の国道沿いの花壇にハーブを植栽するなど、地域住民とも一緒になった活動に取り組んでいます。



○留萌・麦で地域をチェンジする会〔留萌市・小平町〕

食の多様化の中、特に女性や若い世代に人気の高い「パスタ」に注目し、パスタ適性が極めて高い硬質小麦を使った商品開発に着手、試作品を各種イベントに提供したり試食会でのPR活動を続け、「ルルロツ」の商品化に成功しました。

「ルルロツ」の需要拡大に向け、公開レセプション、料理教室を開催、更に学校給食メニューとしても使用されています。今では、「生パスタ」として小売店、飲食店への販売や自家製生パスタ用「小麦粉」としても販売されています。

各種イベントへの参加を通じて知名度が上がり、生パスタや小麦粉は地元カフェや販売店の他、札幌・函館・東京・神奈川などのカフェで使用されています。



第6回コンクール優秀賞・奨励賞受賞団体

	団体名	市町村
(札幌ブロック)		
優秀賞	「恵庭農畜産物直売所かのな（花野菜）」運営協議会	恵庭市
奨励賞	赤平アジサイロードの会	赤平市
奨励賞	岩見沢地域農地・水・環境保全向上対策連絡協議会	岩見沢市
奨励賞	江部乙丘陵地のファンクラブ	滝川市
奨励賞	当別町亜麻生産組合	当別町
奨励賞	ながめま農業協同組合青年部	長沼町
奨励賞	北竜町立北竜中学校	北竜町
奨励賞	宮島沼プロジェクトチーム	美唄市
(函館ブロック)		
優秀賞	八雲町もち米消費拡大推進協議会	八雲町
奨励賞	温泉市（森町トマト生産振興協議会女性部）	森町
奨励賞	株式会社なな美	せたな町
(小樽ブロック)		
優秀賞	米-1グランプリinらんこし実行委員会	蘭越町
奨励賞	STAFF	後志地域
奨励賞	美国・美しい海づくり協議会	積丹町
(旭川ブロック)		
優秀賞	有限会社多田農園	上富良野町
優秀賞	東鷹栖食品加工販売協議会	旭川市
奨励賞	一般社団法人はれるやほす就労継続支援B型事業所	中富良野町
奨励賞	上士別をきずこう会	士別市
奨励賞	ちえぶん旬菜	名寄市
奨励賞	特定非営利活動法人環境ボランティア野山人	上富良野町
奨励賞	特定非営利活動法人ふらの樹海の里ネットワーク	富良野市
奨励賞	VIVAマルシェ	剣淵町
(室蘭ブロック)		
優秀賞	平取町農業協同組合青年部	平取町
奨励賞	一般社団法人北海道中小企業家同友会 苫小牧支部美苔みのり会	苫小牧市
奨励賞	JAとまこまい広域女性部厚真支部味噌づくり実践集団	厚真町
奨励賞	ばんぱかばん	浦河町

	団体名	市町村
(釧路ブロック)		
優秀賞	ハーブマージュ	鶴居村
奨励賞	昆布森漁業協同組合女性部	釧路町
奨励賞	根室・室根交流の会	根室市
奨励賞	羅臼漁業協同組合女性部	羅臼町
(帯広ブロック)		
優秀賞	北海道更別農業高等学校 加工分会A	更別村
奨励賞	JAめむろ（めむろファーマーズマーケット運営協議会）	芽室町
奨励賞	十勝中札内ファーム街道委員会	中札内村
(網走ブロック)		
優秀賞	上斜里フラワーロード推進協議会	清里町
優秀賞	白滝じゃが生産部会 加工班	遠軽町
優秀賞	ところよめさんねっとわーく・さくらちゃん	北見市
奨励賞	オホーツク・マルシェ実行委員会	清里町
奨励賞	上ところホテル友の会	北見市
奨励賞	湧別漁業協同組合女性部	湧別町
(留萌ブロック)		
優秀賞	留萌・麦で地域をチェンジする会	留萌市 小平町
優秀賞	モーモーみるく倶楽部	苫前町
奨励賞	さとやの会	増毛町
奨励賞	民安ダム「サクラの森づくり」の会	天塩町
奨励賞	べごちちFACTORY	天塩町
(稚内ブロック)		
優秀賞	とよかんべつ交流大学	浜頓別町
奨励賞	うたのぼり・癒しの森「音夢路」利用促進研究会	枝幸町
奨励賞	NPO法人サロベツ・エコ・ネットワーク	豊富町
奨励賞	農村生活文化伝承活動をすすめる会	豊富町